

第 22 回 間脳・下垂体・副腎系研究会 プログラム

日時：平成 23 年 9 月 3 日(土) 9:00~17:50
場所：グランパークプラザ ホール (4 階)
東京都港区芝浦 3 丁目 4-1 TEL 03-6722-4242 (開催当日も同様)

日程	開会の辞	(9:00~ 9:03)	当番世話人	岩崎泰正
	[セッション 1]基礎研究 I	(9:03~ 9:30)	座長	菅原 明
	[セッション 2]基礎研究 II	(9:30~ 9:48)	座長	片上秀喜
	[セッション 3]クッシング病 I	(9:48~10:15)	座長	二川原 健
	[セッション 4]クッシング病 II・下垂体腫瘍	(10:15~10:42)	座長	田原重志
	休憩	(10:42~11:00)		
	[基礎シンポジウム] —ウロコルチン研究の最近の進歩—	(11:00~12:00)	座長	芝崎 保 東條克能
	昼食・世話人会	(12:00~13:00)		
	[臨床シンポジウム] —非定型クッシング症候群—	(13:00~14:30)	座長	平田 結喜緒 長村義之
	[特別セミナー]	(14:30~15:00)	座長	須田俊宏 宗 友厚
	コーヒーブレイク	(15:00~15:30)		
	[セッション 5]異所性 ACTH 症候群	(15:30~16:24)	座長	高野幸路
	[セッション 6]下垂体炎、その他	(16:24~17:09)	座長	柳瀬敏彦
	[セッション 7]副腎性クッシング症候群	(17:09~17:45)	座長	方波見 卓行
	閉会の辞	(17:45~17:50)	当番世話人	岩崎泰正

◎ 口演者へのお願い

・口演時間を下記のようにいたしますので時間厳守をお願い致します。

一般演題・・・口演時間 6 分、討論 3 分

シンポジウム、特別セミナー・・・口演時間 10 分、討論 5 分

・当該セッションの 30 分前までに PC 受付にて手続きをし、その後、次演者席に必ずご着席下さい。

第 22 回 間脳・下垂体・副腎系研究会 目次

開会の辞 9 : 0 0 ~ 9 : 0 3
当番世話人 高知大学 岩崎泰正

[セッション 1] 基礎研究 I 9 : 0 3 ~ 9 : 3 0
座長 東北大学 菅原 明

(1) HPA 軸における apelin と NPW の構造と分泌調節

静岡県立大学薬学部 生物薬品化学

井口和明、長野浩子、相曾健一、山本博之、海野けい子、星野 稔

(2) ヒト肺小細胞がん株(DMS-79)における POMC ならびにソマトスタチン (SRIF) の遺伝子発現と産生に関する検討: γ 3-MSH と大分子 ACTH の解析

¹⁾帝京大学ちば総合医療センター 内科・臨床研究部、²⁾同脳神経外科

³⁾徳島文理大学 健康科学研究所

⁴⁾東ソー バイオサイエンス事業部

片上秀喜 ¹⁾、奈須和幸 ¹⁾、松野 彰 ²⁾、橋田誠一 ³⁾、鎌田陽子 ⁴⁾

(3) CRH は、GnRH の発現抑制を介して、性周期遅延を引き起こす。

¹⁾国立国際医療研究センター研究所 免疫生体防御研究室

²⁾東京大学大学院 農学生命科学研究科獣医生理学教室

³⁾東京大学医科学研究所 システム疾患モデル研究センター

千田 大 ¹⁾、松脇貴志 ²⁾、西原真杉 ²⁾、岩倉洋一郎 ³⁾

[セッション 2] 基礎研究 II 9 : 3 0 ~ 9 : 4 8
座長 帝京大学 片上秀喜

(4) レプチン・CRH ダブルノックアウトマウスの表現型解析

高知大学医学部 ¹⁾ 内分泌代謝・腎臓内科、²⁾ 保健管理センター

中山修一 ¹⁾、西山 充 ¹⁾、岡崎瑞穂 ¹⁾、次田 誠 ¹⁾、田口崇文 ¹⁾

岩崎泰正 ²⁾、寺田典生 ¹⁾

(5) レチノイド X 受容体 (RXR) による

ACTH 分泌・POMC 遺伝子発現抑制作用の検討

¹⁾東北大学大学院医学系研究科 腎・高血圧・内分泌学分野

²⁾同 医化学分野、³⁾ 同 病態検査学分野

⁴⁾高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科学講座

宇留野 晃 ^{1),2)}、菅原 明 ³⁾、松田 謙 ¹⁾、工藤正孝 ¹⁾、岩崎泰正 ⁴⁾

伊藤貞嘉 ¹⁾

(6) クッシング病 6 症例の臨床的検討

¹⁾国立病院機構京都医療センター 内分泌・代謝科、²⁾臨床研究センター
玉那覇民子¹⁾、臼井 健²⁾、中尾佳奈子¹⁾、難波多挙¹⁾、革嶋幸子¹⁾
湯野暁子²⁾、田上哲也¹⁾、成瀬光栄²⁾、島津 章²⁾

(7) 術後 20 年で ACTH 分泌能が徐々に低下したクッシング病の一例

横浜労災病院 内分泌代謝内科
滝口朋子、齋藤 淳、千田将馬、松澤陽子、大村昌夫、西川哲男

(8) 5 年間の経過観察中に Subclinical Cushing 病から顕性 Cushing 病に移行し、
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘除術を施行した 1 例

¹⁾東京都立多摩総合医療センター 内科
²⁾虎の門病院 間脳下垂体外科、³⁾同内分泌代謝科、⁴⁾同病理部
⁵⁾東京医科歯科大学 分子内分泌内科 (内分泌・代謝・糖尿病)
宮地康高¹⁾、櫻田麻耶¹⁾、佐藤文紀¹⁾、西田賢司¹⁾、辻野元祥¹⁾
山田正三²⁾、竹下 章³⁾、竹内靖博³⁾、井下尚子⁴⁾、平田結喜緒⁵⁾

(9) 生化学的にサブクリニカルクッシング病併発が疑われた
嚢胞性下垂体病変の 1 例

¹⁾聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 内分泌代謝科
²⁾川崎市立多摩病院 代謝内分泌内科
³⁾聖マリアンナ医科大学病院 代謝内分泌内科
小林鈴子^{1),2)}、方波見 卓行¹⁾、石井 聡^{2),3)}、近藤朗彦²⁾、田中 逸³⁾

(10) 甲状腺濾胞癌が転移した蝶形骨洞腫瘍の一例

¹⁾東京医科歯科大学分大学院内分泌内科学 (内分泌・代謝内科)
²⁾同頭頸部外科、³⁾同脳神経外科、⁴⁾同病理部
山口実菜¹⁾、川堀健一¹⁾、大橋琢也¹⁾、杉山美帆¹⁾、飯降直男¹⁾
足立淳一郎¹⁾、三原正朋¹⁾、杉山 徹¹⁾、泉山 肇¹⁾、吉本貴宣¹⁾
杉本太郎²⁾、大野喜久郎³⁾、明石 巧⁴⁾、平田結喜緒¹⁾

(11) DDAVP 試験で ACTH の奇異反応がみられた先端巨大症の一例

¹⁾水府病院 内分泌代謝内科
²⁾虎の門病院 間脳下垂体外科、³⁾同病理部
⁴⁾東北大学病院 腎高血圧内分泌科、⁵⁾東北大学 内分泌応用医科学
在原善英¹⁾、大崎芳典¹⁾、桜井華奈子¹⁾、深澤 洋¹⁾、山田正三²⁾
井下尚子³⁾、村上 治⁴⁾、大場浩史⁵⁾、高橋和広⁵⁾

休 憩

10 : 42 ~ 11 : 00

[基礎シンポジウム] —ウロコルチン研究の最近の進歩—

11 : 00 ~ 12 : 00

座長 日本医科大学 芝崎 保
東京慈恵会医科大学 東條克能

1. ストレスによる性腺機能低下への視床下部 CRF-下垂体 Ucn 2-LH 軸の関与
日本医科大学大学院医学研究科 生体統御科学
根本崇宏、芝崎 保
2. ヒト副腎における urocortin 発現とその役割
弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座
蔭山和則、須田俊宏
3. 心血管系におけるウロコルチンの役割
1)早坂愛生会病院、2)東北大学大学院医学系研究科 内分泌応用医科学
村上 治¹⁾、高橋和広²⁾
4. ウロコルチン遺伝子改変動物
高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科
西山 充、岩崎泰正

昼食・世話人会

12 : 00 ~ 13 : 00

[臨床シンポジウム] —非定型クッシング症候群—

13 : 00 ~ 14 : 30

座長 東京医科歯科大学 平田 結喜緒
国際医療福祉大学 長村義之

1. 周期性および偽性クッシング症候群
弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学
崎原 哲、高安 忍、照井 健、二川原 健、蔭山和則、須田俊宏
2. POMC プロセッシング異常を伴うクッシング病
1)浜松医科大学 第二内科、2)浜松医科大学医学部附属病院 検査部
飯野和美^{1),2)}、沖 隆¹⁾
3. 異所性 ACTH 症候群
1)土井内科胃腸科医院 糖尿病内分泌内科
2)東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科学(内分泌・代謝内科)
土井 賢^{1),2)}、泉山 肇²⁾、平田結喜緒²⁾

4. 日本間脳下垂体腫瘍学会全国調査における、
下垂体癌・異型性下垂体腺腫の病理学的解析

- 1) 東京大学大学院脳神経外科、2) 帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科
3) 虎の門病院間脳下垂体外科、4) 鹿児島大学医学部脳神経外科
5) 東京大学医学部腎臓内分泌内科、6) 広島大学医学部脳神経外科
7) 東京女子医科大学内分泌内科、8) 総合南東北病院下垂体疾患研究所
9) 江戸川病院病理検査科、10) 国際医療福祉大学三田病院病理診断センター
11) 東京女子医科大学八千代医療センター脳神経外科
12) 日本医科大学脳神経外科

日本間脳下垂体腫瘍学会 下垂体癌、異型性下垂体腺腫の病態と治療に関する小委員会
廣畑倫生¹⁾、松野 彰²⁾、山田正三³⁾、有田和徳⁴⁾、高野幸路⁵⁾
富永 篤⁶⁾、肥塚直美⁷⁾、池田秀敏⁸⁾、佐野壽昭⁹⁾、長村義之¹⁰⁾
田原重志¹²⁾、川俣貴一¹¹⁾、石井雄道¹²⁾、寺本 明¹²⁾

5. テストステロン合成を主体とした副腎皮質腺腫による
サブクリニカルクッシング症候群の一例

- 1) 福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学
2) 東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野
明比祐子¹⁾、永石綾子¹⁾、笹野公伸²⁾、柳瀬敏彦¹⁾

6. Crooke cell adenoma の臨床病理学的検討

- 1) 林脳神経外科内科クリニック
2) 日本医科大学 脳神経外科
3) 国際医療福祉大学三田病院 病理部
竹井麻生¹⁾、田原重志²⁾、長村義之³⁾、寺本 明²⁾

[特別セミナー]

14:30～15:00
座長 弘前大学 須田俊宏
川崎医科大学 宗 友厚

1. コルチゾール測定 of 標準化と低濃度測定 of 技能試験結果

- 1) 前筑波大学大学院 人間総合科学研究科
2) (独) 産業技術総合研究所
3) (社) 検査医学標準物質機構
4) (社) 臨床検査薬協会技術委員会
桑 克彦^{1),2)}、川口 研²⁾、高津章子²⁾、谷 渉³⁾、小林 隆⁴⁾

2. 血漿 ACTH 値解釈のピットフォール

浜松医科大学 第2内科
沖 隆

[セッション5] 異所性 ACTH 症候群

15:30～16:24
座長 東京大学 高野幸路

(12) 血栓性血小板減少性紫斑病を生じたクッシング症候群の1例

岡山大学病院 内分泌センター、腎臓・糖尿病・内分泌内科
大塚文男、瀧上慶一、氏家はる代、稲垣兼一、三好智子、武田昌也
塚本尚子、中村絵里、三村由香里、小倉俊郎、槇野博史

(13) 7年間にわたる原発巣検索の末発見し得た肺カルチノイド原発の
異所性 ACTH 症候群の一例

¹⁾東京慈恵会医科大学附属青戸病院 総合内科
²⁾東京慈恵会医科大学附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
海老澤 高憲 ¹⁾、井内裕之 ²⁾、井坂 剛 ¹⁾、根本昌実 ¹⁾、武田信彬 ¹⁾
東條克能 ²⁾、宇都宮 一典 ²⁾

(14) 肺小細胞癌に SIADH および異所性 ACTH 症候群(EAS)を合併した一例

¹⁾東京医科歯科大学 内分泌代謝内科、²⁾ 東京医科歯科大学 病理部
足立淳一郎 ¹⁾、川堀健一 ¹⁾、山口実菜 ¹⁾、杉山美帆 ¹⁾、飯降直男 ¹⁾
三原正朋 ¹⁾、杉山 徹 ¹⁾、泉山 肇 ¹⁾、吉本貴宣 ¹⁾、猪狩 亨 ²⁾
平田結喜緒 ¹⁾

(15) カベルゴリンが半年で無効となった
原発巣不明 ACTH 依存性クッシング症候群の一例

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
町田雅美、原 圭吾、坂本敬子、金澤 康、坂本昌也
東條克能、宇都宮 一典

(16) 腫瘍摘出後、臨床症状の改善を認めた
海綿静脈洞～蝶形骨洞内異所性 ACTH 産生腫瘍の1例

川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
阿武孝敏、三好舞子、木村友彦、亀井信二、川崎史子
柱本 満、松木道裕、宗 友厚、加来浩平

(17) 血小板減少を伴い治療に難渋した
原発不明 ACTH 依存性クッシング症候群の1例

¹⁾東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
²⁾東京慈恵会医科大学附属青戸病院 総合内科
安藤精貴 ¹⁾、中村明日香 ¹⁾、石澤将 ¹⁾、坂本昌也 ¹⁾
海老澤高憲 ²⁾、東條克能 ¹⁾、宇都宮一典 ¹⁾

- (18) ANCA 関連血管炎のステロイド治療中に発症した視床下部下垂体炎の一例
東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科学 (内分泌・代謝内科)
杉山美帆、川堀健一、大橋琢也、山口実菜、飯降直男、足立淳一郎
三原正朋、杉山 徹、泉山 肇、吉本貴宣、平田結喜緒
- (19) 下垂体腺腫との鑑別が困難であった下垂体炎の一例
1)東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科学(内分泌・代謝内科)
2)同脳神経外科、3)同病理部
飯降直男 1)、川堀健一 1)、大橋琢也 1)、山口実菜 1)、杉山美帆 1)
足立淳一郎 1)、三原正朋 1)、杉山 徹 1)、泉山 肇 1)、吉本貴宣 1)
武川麻紀 2)、田中洋次 2)、大野喜久郎 2)、明石 巧 3)、平田結喜緒 1)
- (20) ラトケ嚢胞による汎下垂体機能低下症が疑われた一例
1)東京都保健医療公社豊島病院 内分泌代謝内科
2)虎ノ門病院 脳神経外科
3)東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科
中村友香 1)、小宮 力 1)、神津靖子 1)、西澤麻依子 1)、堀内敏行 1)
山田正三 2)、平田結喜緒 3)
- (21) 薬理量グルココルチコイドにより症状の改善を認めた
嚢胞構造を伴う下垂体腫瘍病変の妊婦の一例
1)北海道大学 第二内科、2)北海道大学病院 検査輸血部
野本博司 1)、三次有奈 1)、亀田 啓 1)、平井愛見子 1)、末海公彦 1)
曹 圭龍 1)、中垣 彩 1)、澤田 享 1)、永井 聡 1)、近藤琢磨 1)
三好秀明 1)、清水 力 1)、2)、小池隆夫 1)
- (22) 出産後早期に重症インフルエンザ脳症に伴い顕在化した
続発性副腎不全の一例
千葉市立青葉病院 内科
加納明菜、山本恭平、和田 猛、青墳彰代、寺野 隆

(23) 高浸透圧性非ケトン性昏睡の発症を契機に発見された
同側多発腺腫による Cushing 症候群の 1 例

1) 聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科、2) 同横浜市西部病院

3) 同病理学、4) 同泌尿器科

5) 東北大学大学院 病理診断学

古川健太郎¹⁾、方波見 卓行²⁾、小田中美恵子³⁾、宮野 哲⁴⁾、浅井志高¹⁾
笹野公伸⁵⁾、田中 逸¹⁾

(24) 腫瘍内出血を認めた巨大副腎腫瘍(3 症例)の臨床的特徴

1) 東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科学、2) 同 病理部

3) 同 泌尿器科

川堀健一¹⁾、山口実菜¹⁾、杉山美帆¹⁾、飯降直男¹⁾、足立淳一郎¹⁾

三原正朋¹⁾、杉山 徹¹⁾、泉山 肇¹⁾、吉本貴宣¹⁾、明石 巧²⁾

木原和徳³⁾、平田結喜緒¹⁾

(25) 原発性アルドステロン症に合併する
subclinical Cushing 症候群についての検討

1) 財) 田附興風会 医学研究所 北野病院 糖尿病内分泌センター

2) 同 泌尿器科

3) 東北大学医学部 病理診断学

4) 横浜労災病院 内分泌内科

龍岡久登¹⁾、本庶祥子¹⁾、浜本芳之¹⁾、河崎祐貴子¹⁾、池田弘毅¹⁾

和田良春¹⁾、森 可南子¹⁾、金丸洋史²⁾、笹野公伸³⁾、西川哲男⁴⁾

越山裕行¹⁾

(26) 高コルチゾール血症を来し、診断に苦慮した
下垂体・両側副腎悪性リンパ腫の一剖検例

1) 名古屋掖済会病院 糖尿病・内分泌内科

2) 東北大学医学部 病理診断学分野、同神経内科

3) 浜松医科大学 第二内科内分泌代謝科

4) 名古屋掖済会病院神経内科、5) 名古屋掖済会病院病理診断科

吉田昌則¹⁾、宮田美咲¹⁾、小川 晃一郎¹⁾、笹野公伸²⁾、沖 隆³⁾

本田大佑⁴⁾、氏平伸子⁵⁾